

支える会の皆さまへ、

九州地区大地震でお近くに被害に遭われた方はいらっしゃいませんか？被害のお見舞いを申し上げますとともに、揺れが一刻も早く収まり、被害の復旧作業が速やかに進められることをお祈りいたします。

このたびの年度総会に際しまして、これまで16年間に渡ってケニアでの活動を支援し続けてくださいましたことに心よりの感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。皆さまが支援のために費やしてくださった時間とご労苦は、皆さまにとっては二度と戻ってくることはないご自分の人生の一部を捧げてくださったことに他なりません。私たちは、皆さまの人生そのものである時間という最高の贈り物をいただき、お励ましをいただき、財政的な援助もしていただき、活動を続けることができてきました。皆さまの深い愛をいただき、言い尽くせない感謝の思いで一杯です。

以前アインシュタインの言葉をご紹介したと記憶しています。「人生には二通りの生き方があります。奇跡はどこにもないという生き方と、すべてが奇跡だという生き方です」—16年間に渡る皆さま方からのご支援は奇跡でなくて何でしょう！そして2015年はまた新たな奇跡を目にした年でした。スラムの子供たちに基礎教育を提供するコイノニア教育センターを始めて以来13年間求め続けた校舎建設のための土地をようやく取得することができました。そのステップ一つ一つが驚きと感動の出来事でした。「もうそんな土地は見つけれないのかもしれない」という考えがよぎり始めた矢先、その土地に出会いました。ちょうど一年前、大断層帯の谷の中、周りを山々が巡り、どこまでも高いアフリカの空の下に広がる4ヘクタールの土地に立ったとき、「ああ、ここだったのか！」と不思議な感動に胸が燃えました。約2000万円の買い物でした。日本に帰国し、NPO法人ケニア・コイノニア友の会ジャパンの呼びかけで募金が始められました。3週間で、予定していた手付金を上回る募金が捧げられました。その後ケニアと日本で継続して資金捻出の活動が進められました。さらに土地の所有者がこの教育の働きに理解を示し、支払期限の延長を承諾し、2016年1月末に支払いを完了することができました。現在登記の最終手続きを進めています。

この一年の間、惜しみなく寄付を捧げてくださった多くの方々がいてくださったこと、またこのプロジェクトを共に担い、一緒にやろうと決めてくださる方々がいてくださったこと、すべてが奇跡です。

さて、これからいよいよ第二段階の校舎、付属施設の建設プロジェクトが始まります。すでにボランティアで協力して下さっている建築家グループによって新校舎の図面が準備されています。まず資金の調達、インフラ整備、地元行政との話し合いなど二山目は見上げるとさらに陰しく見えます。一步一步息が切れず、切れてもまた立ち上がり歩み続けられるよう声をかけていただければ幸いです。

心からの感謝を込めて、

2016-4-21

市橋隆雄・さら

